

# 月経異常と生活習慣病

倉林 工 / 森川 香子

## Summary

早発卵巣不全(POI)は更年期症状や骨粗鬆症に加え、心血管系疾患のハイリスク群であり、十分量のホルモン補充療法が望ましい。やせを伴う月経不順も骨粗鬆症のハイリスク群である。多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)は若年期の月経異常など生殖の問題のみでなく、中高年期以降の代謝異常や心血管系異常に代表される将来の生活習慣病、メタボリック症候群のハイリスク群である。PCOSをはじめ月経異常の女性は、生殖医学にとどまらず、若年期から老年期にわたる生涯のライフスタイルの改善や薬物療法などの適切な管理が望まれることから、女性医学において重要な関連領域となっている。

## Key words

早発卵巣不全  
多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)  
生活習慣病  
女性医学  
日本ナースヘルス研究(JNHS)

Takumi Kurabayashi

新潟市民病院産婦人科 産科部長 / 患者総合支援センター長

Kyoko Morikawa

新潟市民病院産婦人科 産科副部長

## はじめに

近年、月経異常は、生殖医学の問題のみでなく女性医学的観点から女性の生涯のヘルスケアの必要性が指摘されるようになってきた。月経異常には、①月経周期の異常や排卵障害、②月経随伴症状に分けられる。本稿では前者の月経周期の異常や排卵障害と生活習慣病の関連性について、特に早発卵巣不全(primary ovarian insufficiency ; POI)と多嚢胞性卵巣症候群(polycystic ovary syndrome ; PCOS)を中心に解説する。後者に関しては本特集の「子宮内膜症と生活習慣病」を参照されたい。

## POI

POIとは、「40歳未満で卵巣性無月経となったもの」と定義され<sup>1)</sup>、診断基準は定められていないが、①4～6ヵ月以上の無月経、②高ゴナドトロピン血症、③低エストロゲン血症を呈するものとするのが一般的である<sup>2)</sup>。頻度は1%(30歳未満0.1%)<sup>3)</sup>で、その原因として、染色体・遺伝子異常による先天異常、自己免疫性疾患、感染、卵巣腫瘍手術、化学療法、放射線療法、膠原病治療後などの医原性によるものがあるが、90%は原因不明である。

POI女性の健康上の問題点として、更年期症状(ほてり、発汗、不眠症、性交不快症、性欲低下、陰乾燥感など)、骨密度の低下と骨折増加、不妊、気分障害(うつ、不安感など)、認知機能低